

支援学級

みんなで“わくわく”！・・・支援学級

自立活動・生活単元学習の一環として「わくわくタイム」に取り組んでいます。異学年で交流できることが大きなメリットとなっています。支援1組から9組までが持ち回りで会を企画・運営することで、集団参加やコミュニケーションスキルの向上などを目指しています。毎回、発表やゲームをプログラムの中に入れて行っています。



1学期は、支援学級の1年生を歓迎する会「ようこそ1年生」を開き、大きなパラシュートを音楽に合わせて操作し、1年生に大きな“虹”をプレゼントしました。

また、4年生が「つばさっ子体験隊」での体験報告会をしました。カヌーに乗っている様子を劇にして、その楽しさを伝えてくれました。低学年から高学年まで、みんなで楽しめるように子どもたちが工夫するところが良い学びとなっています。

(支援学級主任 埴田 陽子)

つばさっ子ボランティア

素敵な輪を広げたい！

『つばさっ子』は中条小学校の児童のことで、その『つばさっ子』を色々な面からサポートしてくれている方が『つばさっ子ボランティア』さんです。

毎日の登下校の見守りや、昔あそびで一緒に遊んでくれたり、朝や昼の読み聞かせ、校外学習の引率や、玄関前の飾りつけや季節の飾りつけ、ミシンやスキー授業を手伝ったりしてくれています。子どもたちは、ボランティアさんが学校にいと、いつも元気にあいさつをしてくれます。また、一緒に活動をする「ありがとうございます」と笑顔でお礼を言ってくれます。ボランティアに参加していただいた方からは、子どもたちの元気なあいさつや、笑顔を見ると「元気がもらえて、とてもうれしい。」という声を聞きます。ボランティアのみなさんと子どもたちとの交流は互いに笑顔になり、優しい気持ちになれるとても素敵な時間になっています。



みなさん自分ができるときに、できることに参加してくださっています。ボランティアはいつでも募集していて、見学もできますのでいつでも学校にお問い合わせください。

(地域コーディネーター 五十嵐 紗矢香)

8・9月の主な行事予定

8月		8日(月)	つばさっ子体験隊Ⅱ①
23日(土)	PTA文化・育成部民謡流し練習①	9日(火)	つばさっ子体験隊Ⅱ②
25日(月)	PTA常任委員会		6学年PTA学年行事
28日(木)	2学期始業式	10日(水)	つばさっ子体験隊Ⅱ③
29日(金)	給食開始日 全校4限		あいさつの日(運営委員会)
	身体測定(4～6年)	11日(木)	1・2・5年：5限
30日(土)	PTA文化・育成部民謡流し練習②	12日(金)	2学年PTA学年行事
		15日(月)	祝日：敬老の日
		16日(火)	クラブ③
		17日(水)	児童朝会
			すいすいファイブ
		23日(火)	祝日：秋分の日
		24日(水)	全校朝会
3日(水)	中条祭り親子民謡流し	25日(木)	全校5限
5日(金)	中条祭りのため学校お休み		6年生胎内市親善陸上競技会
	諸校費口座引落日	30日(火)	委員会⑥



見て、聞いて、感じて

校長 松原 利弘

今年も教室の前に七夕飾りが飾られていました。つばさっ子ボランティアの方々が用意してくださった竹に、子どもたちが願いごとを書いた短冊がゆれていました。学校に季節感をもたらしてくれる、毎年変わらぬ風景です。大きな事故もなく、1学期を終えることができます。この間、保護者、地域の皆様には、様々な場面で、たくさん支えていただきました。誠にありがとうございました。感謝申し上げます。



「われは海の子」という歌があります。6年生の音楽科の指導内容にも含まれています。夏になると、このメロディを思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。明治から昭和にかけて、文部省が編纂した文部省唱歌の一つで、2007年には「日本の歌100選」にも選ばれました。長い間、作者不明とされていましたが、近年、児童文学書の宮原晃一郎氏の作であることが分かりました。

情感豊かで、歌詞の情景が湧いてくるようです。歌詞を読み返すと、様々な感覚に迫ってくる言葉に出会うことができます。

- | | | |
|---|----------------------------|----------------------------|
| 1 | われは海の子 白波の
煙たなびく 苦屋こそ | さわぐ磯辺の 松原に
わがなつかしき 住家なれ |
| 2 | 生まれて潮に 浴みして
千里寄せくる 海の気を | 浪を 子守の歌と聞き
吸いてわらべとなりけり |
| 3 | 高く鼻つく 磯の香に
なぎさの松に 吹く風を | 不断の花の かおりあり
いみじき楽と 我は聞く |

「白波」「煙たなびく苦屋」：目に浮かぶ風景。

「浪を子守の歌」「吹く風」「いみじき楽」：自然から流れてくる音色。

「磯の香」「不断の花のかおり」：鼻をくすぐる香り。

「さわぐ磯辺」「千里寄せくる海の気」「なぎさの松に吹く風」

：肌や心に感じられるもの。

夏休みには、学校生活では得られない体験が待ち構えていることでしょう。その中で多くの人やこと、ものに出会おうと思います。そのとき、様々な感覚を働かせて、豊かに感じてほしいと思っています。その感じたことが、きっと心の中に残り、よき思い出になるのだと思います。夏休みは、そのような心動かされるものと出会える大切な時間です。

夏休みを終え、明るい顔で登校してくる子どもたちを、心待ちにしています。

1 年生

活動いっぱい、生活科

1 年生は生活科の学習でたくさんの活動をしました。

4 月は、「学校たんけん」です。図書館や音楽室、そして、職員室や校長室など、初めて見る場所に驚くことがいっぱいでした。校長室では、「これは何ですか。」と校長先生に質問。「大切な書類が入っている金庫です。」の答えに、「ええっ、こんなに大きい金庫あるの!？」

6 月上旬は、「北公園へのたんけん」をしました。30 分かけて、学校から北公園まで頑張って歩きました。公園では、植物がどこにあるかを当てる「自然クイズ」で自然と親しんだり、友達と遊ぶ「グループ活動」で協力したり譲り合ったりしてかわりながら楽しく活動したりしました。

6 月下旬は、「アサガオの種まき」です。「大きく育てね。」「きれいに咲いてね。」と、願いを込めてまきました。小さな種から、2 週間ほどで本葉が出てきて、その成長の早さに子どもたちは、びっくり。観察カードも一生懸命かきました。

生活科の学習を通して、子どもたちは人や自然とのかわりを経験しています。これから子どもたちの成長が楽しみです。
(1 学年主任 阿部 恵美子)



2 年生

生活科 「中条のまちをたんけん！」

2 年生は、6 月に 2 回、町たんけんを行いました。

1 回目は、国道沿いの歩道から警察署、産業文化会館、市役所、消防署付近、住宅街のコース。2 回目は、本町商店街、若宮神社、市立図書館、中条駅コース。自分たちの町をよく知っているようで、通学路と違う地域は、知らなかったり気づかなかったりしたことがたくさんある子どもたち。「おまんじゅうを売ってるよ!おいしそう。」「神社にあるこの動物の像はなんなんだろう。」「服を売っているお店をよく見かけるなあ。」など、興味津々に町をたんけんしていきました。2 学期の「町が大すきたんけんたい パート 2」で、気付いたことや感じたこと、不思議に思ったことなどについてインタビュー活動などを行いながら調べていきたいと考えています。子どもたちの安全な活動のために、たくさんのボランティアの方が参加してくださいました。温かく見守ってくださったボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

(2 学年主任 佐藤 麻矢子)



3 年生

新しい学習が始まったよ!

3 年生になって、新しい教科「理科」と「社会」が始まり、子どもたちは興味津々に学習に取り組んできました。理科では生き物の観察や植物のお世話をしながら学習をしています。社会では学校のまわりの様子や地域の安全を調べました。また、イオンスタイル中条店に見学に行き、スーパーの

工夫を調べることができました。

国語や算数でも、ノートを使い方や自分の考えを伝えることを意識し、学びを深めています。

また、係活動にも力を入れ、「自分たちのクラス」をよりよくしようと考えて行動する姿が増えてきました。できることが少しずつ増え、成長を感じられる 1 学期となりました。今後の成長も、どうぞ温かく見守っていただければと思います。
(3 学年主任 船山 浩)



4 年生

中条をもっと盛り上げ隊！

昨年度、本町通り商店街について調べてきた子どもたちは、「胎内市の伝統や歴史についてもっと知りたい！」と考えるようになりました。胎内の伝統行事といえば、中条まつり！しかし、本やインターネットで調べても歴史の情報はあまり得られませんでした。そこで、子どもたち自ら若宮神社の神主さんにお電話をし、学校へお呼びしてお話を聞くことにしました。若宮神社の神主さんから中条まつりの歴史を聞いていく中で、自分たちが楽しみにしている中条まつりが 300 年以上もの伝統あるお祭りであることにみんな驚いていました。



これから中条まつりの 5 つの組と連絡を取り、各組の山車に使う花飾り作りを行います。この活動を行いながら、自分たちの暮らすふるさとのよさを知り、そのよさを発信していく活動に取り組んでいきたいと思います！

（4 学年主任 井上 健司）

5 年生

胎内の「食」を広めよう！

5 年生は胎内市の「食」について調べています。

5 月には、JA の方にご協力いただき田植え体験に挑戦しました。1 本 1 本手作業で植えていく活動とその後の学習を通して、毎日食べているお米はこんなに小さな苗から育っていること、収穫までに多くの人々の努力や工夫があることを知ることができました。



「田植え体験」から、胎内市の特産品についての学習が始まりました。「胎内市の特産品は何だろう？」「なぜ胎内市は米粉が有名なのだろう？」と胎内市が力を入れている「食」の特産品について「もっと知りたい！」という気持ちが高まってきた子どもたち。1 学期は、米粉の良さや特徴、米粉を使った料理などについて詳しく調べたことで、米粉がより身近に感じられるようになってきました。

2 学期には、ふるさと体験学習で自分たちが調べた特産品について確認していきます。この体験活動を通して、胎内市の様々な特産品とそこで働く人々の思いや願いについても知ってほしいと期待しています。

（5 学年主任 富樫 美由紀）

6 年生

最高学年として！

最高学年となり、様々な活動で学校をリードしてきました！4 月当初は、朝の準備や給食準備など、新 1 年生の手伝いをし、少しでも早く小学校生活に慣れることができるようにサポートしました。また、にこにこ班活動や委員会、運動会など、様々な場面で、全校を動かす大変さを感じつつも、一人一人が「自分たちにできることは何か」を考えて活動を進めてきました。自分らしさを発揮しつつも、友達と協力してやり遂げた際の「できた！」という充実感が、「やるぞ！」という次の活動への前向きな気持ちに繋がっています。そして、つばさっ子体験隊Ⅲ「佐渡への修学旅行」では、充実した体験・活動を通して、多くのことを学び、たくさんの思い出を作ることができました。



2 学期も子どもたちのエネルギーあふれるパワーを発揮し、新校舎での新たな学校生活をリードしていく姿が今から楽しみです！

（6 学年主任 木村 収吾）